

澤田瑞穂博士著作繫年目錄

- 一、本著作目錄は、澤田瑞穂博士の著作を發表の年月順に排列した「繫年目錄」である。
- 一、收録した著作には、論考のほか書評・隨筆・事典項目・解説その他を含む。
- 一、單行本は『……』、發表誌・叢書名などは「……」により示した。
- 一、各篇のうち、のちに單行本に收録されたものには、↓A（アルファベットは「著譯書一覽」に附した記號）のような表記によってその旨を記した。
- 一、收録は、昭和七年に始まり昭和五十七年十二月末日までとする。
- 一、澤田瑞穂博士の經歷は、本著作繫年目錄を以てこれに代える。
- 一、本目錄は、「澤田瑞穂教授著作類別目錄」（昭和四十八年三月刊『澤田瑞穂教授還曆記念中國文史論叢』、「天理大學學報」第八十五輯）及び澤田瑞穂博士の備忘録に基づき、早稻田大學中國文學會の責任で作成したものである。前記目錄は、各篇を題材別に分類したものであり、略歴もその「枕簾自語」に記されているので、併せて参照していただければ幸いである。

著譯書一覽

〔著書〕

- A 『中國の文學』 昭和二十三年九月 東京・學徒援護會刊(絶版)
- B 『寶卷の研究』 昭和三十八年七月 名古屋・采華書林刊
タイ
プ版(絶版)
- C 『地獄變—中國の冥界說—』 昭和四十三年三月 京都・法藏館刊
- D 『校注破邪詳辯—中國民間宗教結社研究資料—』 昭和四十七年五月 東京・道教刊行會刊
- E 『憶燕集』(詩文集) 昭和四十七年十一月 風陵書屋刊(私家版)
- F 『佛教と中國文學』 昭和五十年五月 東京・國書刊行會刊
- G 『增補寶卷の研究』 昭和五十年六月 東京・國書刊行會刊
- H 『鬼趣談義』 昭和五十一年九月 東京・國書刊行會刊
- I 『中國動物譚』 〔弘文堂選書〕 昭和五十三年九月 東京・弘文堂刊
- J 『宋明清小説叢考』 昭和五十七年二月 東京・研文出版刊
- K 『中國の泰山』 〔世界の聖域〕別卷一 昭和五十七年三月 東京・講談社刊
- L 『中國の民間信仰』 昭和五十七年七月 東京・工作舎刊
- M 『花の寺』 凌叔華女士短篇集 桃生翠(筆名)譯 昭和十五年九月 東京・伊藤書店刊(絶版)
- N 『金瓶梅研究資料要覽』 昭和三十六年六月 名古屋・天山書店刊 油印
(絶版)
- O 『燕趙夜話—採訪華北傳說集—』

P 『列仙傳・神仙傳』
昭和四十年九月 名古屋・采華書林刊(絶版)

「中國古典文學大系」第八卷 昭和四十四年九月
東京・平凡社刊

Q 『列仙傳・神仙傳』

「中國の古典シリーズ」第四卷 昭和四十八年
六月 東京・平凡社刊

R 『中國の昔話』

「中國民間文藝叢書」第一卷 昭和五十年五月
東京・三彌井書店刊

S 『増修金瓶梅研究資料要覧』

「中國文學研究特刊叢書」四 寺村政男・堀
誠増補 昭和五十六年十月 早稻田大學中國文
學會刊

*

昭和七年(一九三二)

七月 鳳凰と桐と竹

「國學院大學新聞」(號
數失記)

十月 支那に於ける桃の信仰

「資料と論説」第一輯

澤田瑞穂博士著作繫年目録

昭和八年(一九三三)

五月 戯曲に描かれたる楊貴妃

國學院大學「國文論考」
第一輯

昭和十一年(一九三六)

十一月 國語原始

國學院大學「漢文學會
々報」第二輯

昭和十三年(一九三八)

二月 森槐南の傳奇二種

「漢文學會々報」第四
輯

二月 剪燈新話の舶載年代

中國文學研究會「中國
文學月報」第三十五號

十一月 道情について

「中國文學月報」第四
十四號↓F

昭和十四年(一九三九)

一月 冥婚譚

「漢文學會々報」第五
輯

六月 閒情譯詞抄

「中國文學月報」第五
十一號

七月 林羅山と唐山小説その他

「東洋文化」第一七五
號

十月 風謠論

支那民俗學の收穫

繡枕（翻譯、凌叔華原作）

十二月 支那佛教唱導文學の生成

昭和十五年（一九四〇）

三月 崑崙奴ものがたり

九月 『花の寺（凌叔華女士短篇集）』

十二月 支那佛教唱導文學の生成

（續）

昭和十七年（一九四二）

九月 神巫記

昭和十八年（一九四三）

五月 竹榻談畫

「漢文學會々報」第六輯

「漢文學會々報」第六輯

「澁谷文學」第十五卷四號→M

智山專門學校「智山學報」新第十三號→F

郁文館中學「郁窓會々誌」第十六號

東京・伊藤書店刊

「智山學報」新第十四號→F

「ひだびと」第十年九號

「澁谷文學」第十九卷一號→E

昭和十九年（一九四四）

十二月 信仰と環境

昭和二十年（一九四五）

二月 太陽生まるゝ日

四月 清明前後

八月 孟姜女寶卷

昭和二十二年（一九四七）

二月 板橋題畫抄

昭和二十三年（一九四八）

三月 什利海春景（華文）

五月 論藏書の貸借（華文）

七月 芥川龍之介與聊齋志異

（華文）

北京・東方民俗研究會「東俗叢」第二號→L

北京新民印書館「月刊毎日」第二卷三號

「月刊毎日」第二卷五號

「月刊毎日」第二卷九號

E 「智山公論」第七號→

「華文國際」第一卷八號

「華文國際」第一卷十四號

「華文國際」第二卷二號

八月 蓮花社後記（華文）

「華文國際」第二卷六號

九月 『中國の文學』

東京・學徒援護會刊

棗

「中華日報」（號數失記）↓E

人骨の話

「中華日報」九月二十八日

昭和二十四年（一九四九）

七月 花えんじゅ

川越第二中學校「雁のつどい」第三號↓E

十月 「刺身」の語源について

「雁のつどい」第四號

昭和二十五年（一九五〇）

一月 西山の柿

「弘法文化」第五號↓E

七月 荷葉燈

「雁のつどい」第六號

八月 養魚池異變

川越工業高校「社會科研究」第五號↓E

昭和二十六年（一九五一）

三月 桃を盗む話

「雁のつどい」第七號

十二月 羅祖の無爲教

日本道教學會「東方宗

教」創刊號↓G

昭和二十七年（一九五二）

九月 羅祖の無爲教（續）

「東方宗教」第二號↓

昭和二十九年（一九五四）

二月 道光白陽教始末

「東方學論集」第一↓

三月 芥川龍之介と聊齋志異

跡見學園文藝部「白壁」第九號

五月 八卦教源流

「國學院雜誌」第五十五卷一號（折口信夫博士追悼號）↓D

十二月 濰州影戲の藝術

「跡見學園國語科紀要」第三

昭和三十年（一九五五）

三月 初期の黃天道

「東方宗教」第八・九合集號↓G

十月 龍華經の研究

「跡見學園國語科紀要」第二↓D

落葉長安に滿つ

跡見學園生徒會誌「跡

十一月 韓淑芬

十二月 永樂佛曲

昭和三十一年（一九五六）

五月 漢文法における詞性の虚

實

十月 『金瓶梅詞話』所引の寶

卷について

書物の貸借について

十一月 鼓詞

十一月 玉堂春散策

昭和三十二年（一九五七）

三月 山裏紅

十月 弘陽教試探（上）

見」創刊號↓E

「白壁」第十三號↓E

「跡見學園國語科紀要」

第四↓F

「解釋」第二卷五號

京都大學「中國文學報」

第五冊↓G

「跡見學園新聞」第三

十五號

『世界大百科事典』第

十一卷 東京・平凡社

刊

「跡見學園國語科紀要」

第五↓J

「跡見」第二號↓E

「天理大學學報」第二

十四輯↓G

昭和三十三年（一九五八）

三月 弘陽教試探（下）

六月 詩學復興

七月 寶卷

九月 秋成と中國小説

十一月 話本小説の「發跡變泰」

について

昭和三十四年（一九五九）

一月 寧獻王とその雜劇

三月 明季縉流曲家散木湛然禪

師事蹟

六月 民國初年の大衆文藝雜誌

—鄭逸梅「小説雜誌叢話」譯

補—

「天理大學學報」第二

十五輯↓G

天理時報社「燈臺」第

三號

『世界大百科事典』第

二十六卷 東京・平凡

社刊

『秋成』（日本古典鑑

賞講座）第二十四卷

東京・角川書店刊

「天理大學學報」第二

十七輯↓J

「漢文學會々報」第十

輯

「天理大學學報」第二

十八輯↓F

極東書店「書報」第二

卷六號

十二月 魚籃觀音―その説話と文藝―「天理大學學報」第三

十輯↓F

昭和三十五年（一九六〇）

三月 濟顛醉菩提について

「天理大學學報」第三
十一輯↓F

六月 三教思想と平話小説―潘

鏡若撰『三教開迷歸正演義』
第十六號↓F
について―

十一月 唐三藏の出生説話につい

て
『福井博士頌壽記念東
洋思想論集』 同論集
刊行會刊↓F

十二月 子弟書一夕話

「天理大學學報」第三
十三輯

昭和三十六年（一九六二）

三月 大鼓書私録（卷上）

「天理大學學報」第三
十四輯

五月 負鼓の盲翁

天理大學中國學科「中
文研究」第一號

六月 『金瓶梅研究資料要覽』

十月 彌勒教

名古屋・天山書店刊
『アジア歴史大事典』

十二月 大鼓書私録（卷中）

第八卷 東京・平凡社
刊
「天理大學學報」第三
十六輯

昭和三十七年（一九六二）

一月 彈詞『珍珠塔』のこと

三月 大鼓書私録（卷下）

「中文研究」第二號
「天理大學學報」第三
十七輯

四月 無爲教

『アジア歴史大事典』
第九卷 東京・平凡社
刊

七月 彈詞研究の栞

大安書店「大安」第八
十號

九月 紅燈照の歌

「中國語學」第二二四
號

十二月 地獄の報告書―李伯元作

「天理大學學報」第三
十九輯↓J

昭和三十八年（一九六三）

一月 清末の軍歌

三月 清代歌謠雜稿（一）

「中文研究」第三號
「天理大學學報」第四

十輯

三・四合刊號↓G

七月 清代歌謠雜稿(二)

十二月 『衆喜寶卷』所見の明清

「天理大學學報」第四
十一輯

教門史料

「天理大學學報」第四
十五輯↓D

『寶卷の研究』

昭和四十年(一九六五)

八月 庚申補錄

庚申談話會「庚申」第
三十三號↓L

一月 殺人祭鬼證補

「中文研究」第五號↓
L

昭和三十九年(一九六四)

五月 阿英

一月 李世瑜編『寶卷綜錄』に
ついて(書評)

「大安」九十八號

六月 金瓶梅の研究と資料

『中國語と中國文化』
東京・光生館刊

十恩徳と十報恩

「中文研究」第四號↓
F

九月 『燕趙夜話』採訪華北傳說

『中國の八大小説』
東京・平凡社刊↓J

三月 達摩傳小説

「ビブリア」第二十七
號↓F

十月 蟠桃宮の神々

名古屋・采華書林刊

殺人祭鬼

「天理大學學報」第四
十三輯↓L

昭和四十一年(一九六六)

「東方宗教」第二十六
號↓L

清末の祀典問題について

「東方宗教」第二十三
號↓L

一月 余蓮村の勸善劇

「天理大學學報」第四
十八輯

六月 釋教劇鈔錄

「天理大學學報」第四
十四輯↓F

清末の「新名詞」論議

「中文研究」第六號↓
J

七月 寶卷と佛教說話

「佛教史學」第十一卷

三月 『破邪詳辯』について

「天理大學學報」第五

六月 清代歌謠雜稿(三)

十二月 清代教案所見經卷名目考

昭和四十二年(一九六七)

一月 西遊演義校譚

三月 魂歸る―回殺避映のフオー
クローア―

太監劉瑾

小説娛目鈔

六月 白話詩書ノート

十月 天理圖書館所見道書私錄

十二輯↓D

「天理大學學報」第五
十二輯

『小笠原宮崎兩博士華
甲記念史學論集』(龍
谷史壇)第五十六・五
十七合刊號)↓D

「中文研究」第七號↓

J

『道教研究』第二冊
東京・昭森社刊↓L

「天理大學學報」第五
十四輯

「ビブリア」第三十五
號↓J

「天理大學學報」第五
十五輯

「東方宗教」第三十號
↓F

十二月 砒霜の禁

十二月 解放戰爭中の宗教結社と
解放後の宗教政策
『山崎先生退官記念東
洋史學論集』東京・
大安書店刊↓J

『宗教』(中國文化叢
書)第六卷)東京・大
修館書店刊

昭和四十三年(一九六八)

一月 石派書『青石山狐仙傳』

について

「中文研究」第八號

三月 『地獄變―中國の冥界説―』

京都・法藏館刊

清代歌謠雜稿四完

「天理大學學報」第五
十八輯

六月 畜類償債譚

『佛教文學研究』第六
集 京都・法藏館刊↓

F

十一月 中國民間の太陽信仰とそ
の經典

「天理大學學報」第五
十九輯↓L

昭和四十四年(一九六九)

一月 蓮池大師傳の彈詞『九品
蓮臺記』について

「中文研究」第九號↓
F

中國文學研究 第八期

神に借金する話

「天理大學學報」第六
十一輯

十二月 出米石の傳説

十八輯↓F
「中文研究」第十一號三月 魚と道人―中國における「物
食う魚」の說話について―「天理大學學報」第六
十二輯↓I

昭和四十六年（一九七二）

九月 『列仙傳・神仙傳』

『中國古典文學大系』
第八卷 東京・平凡社
刊

一月 游戲―清末小説管見―

中國文藝研究會『野草』
第二號↓J

十二月 隨筆金瓶梅

「中文研究」第十號↓

七月 墓中育兒譚

「天理大學學報」第七
十二輯

泰山香稅考

『福井博士頌壽記念東
洋文化論集』 東京・
早稻田大學出版部刊↓
J

十二月 旱魃とミイラ

『傳承文學研究』第十
一號↓H
「天理大學學報」第七
十六輯↓H

昭和四十五年（一九七〇）

三月 龍木篇

「天理大學學報」第六
十五輯↓L

昭和四十七年（一九七二）

一月 泡と蝦蟆

「中文研究」第十二號
↓H

神仙說話の研究

「天理大學學報」第六
十六輯↓F

三月 寶精篇

「天理大學學報」第七
十八輯

四月 韓湘子傳説と俗文學

金牛の鎖

「天理大學學報」第七
十九輯

九月 道情考補遺

「天理大學學報」第六
十七輯↓F

五月 『校注破邪詳辯―中國民間

東京・道教刊行會刊

宗教結社研究資料―

九月 見鬼考

十一月 楓はカエデとは限らない

『憶燕集』(詩文集)

十二月 神女送子のこと

昭和四十八年(一九七三)

三月 枕簾自語

鬼市考

五月 やつしの生涯―悼亡・立仙

憲一郎君―

六月 柳のわかれ

『列仙傳・神仙傳』

澤田瑞穂博士著作繫年目録

「天理大學學報」第八
十一輯「天理大學廣報」第十
九號

風陵書屋刊

「中文研究」第十三號

↓L

『澤田瑞穂教授還曆記
念中國文史論叢』(天
理大學學報)第八十五
輯)「天理大學學報」第八
十六輯↓Hドン文學會「ドン」第
十七號天理大學中國學科「崑
崙」復刊第三號『中國の古典シリーズ』
四 東京・平凡社刊

メタモルフォーシスと變

鬼譚

『昔話―研究と資料』
第二號 東京・三彌井
書店刊↓L

十一月 隱士と叛徒―富士正晴著

『中國の隱者』(書評)

サンケイ新聞

十二月 棺蓋鬼話

「中文研究」第十四號
↓H

昭和四十九年(一九七四)

三月 舊鈔馮氏手校本『燈下閑

談』に關する二三事

「ビブリア」第五十六
號

十月 嘯の源流

「東方宗教」第四十四
號

昭和五十年(一九七五)

一月 拜新月詞話

『大野實之助博士古稀
記念中國文學論文集』
(中國古典研究)第二十
號)

二月 紅蓮柳翠

「早稻田大學大學院文
學研究科紀要」第二十
輯↓J

五月 『中國の昔話』

「世界民間文藝叢書」
第一卷 東京・三彌井書店刊

ふたもと葦よー詩比興説

存疑一

『佛教と中國文學』

六月 『増補寶卷の研究』

産婆・狐・幽霊

東京・國書刊行會刊
『昔話——研究と資料』
第四號 東京・三彌井書店刊↓H

十二月 神婚傳説

早稻田大學中國文學會
「中國文學研究」第一期↓L

昭和五十一年（一九七六）

一月 抱朴子・神仙傳・山海經

・酉陽雜俎

『中國の古典名著總解説』 東京・自由國民社刊

七月 東洋的幻想と秋成

「國文學 解釋と鑑賞」
七月號

九月 『鬼趣談義』

東京・國書刊行會刊

十二月 惜春韻語

「中國文學研究」第二期

昭和五十二年（一九七七）

一月 臺灣昔話の新收穫——施翠

峰編『臺灣の昔話』によせ

て一（書評）

六月 道家青精飯考

中元と孟蘭盆會

「吉岡博士還曆記念道
教研究論集」 東京・
國書刊行會刊

十月 清末の小説（『中國の文學』

より轉載）

清末文學一隅

清末小説研究會「清末
小説研究」第一號↓J
「清末小説研究」第一
號↓J

十二月 李翠蓮故事唱本考

「中國文學研究」第三
期

民間故事（ほか中國民俗學
諸項目）

『日本昔話事典』 東
京・弘文堂刊

昭和五十三年（一九七八）

三月 龍の母

「早稲田大學大學院文學研究科紀要」第二十三輯→L

第九號

十一月 禁術考

「漢文學會々報」第二十五輯

六月 驅蝗神

「東方宗教」第五十一號→L

吉岡博士の道教研究について

「東方宗教」第五十四號

九月 『中國動物譚』

弘文堂選書 東京・弘文堂刊

十二月 孫悟空神

「中國文學研究」第五期→J

十月 道教の基礎的問題（講演筆記）

「東方宗教」第五十二號→L

昭和五十五年（一九八〇）

二月 『宋代說書史』と『說書藝人柳敬亭』—陳汝衡氏の近業—（書評）

「中國文藝研究會會報」第二十二號

藤野岩友著『中國の文學と禮俗』（書評）

「東方宗教」第五十二號

十二月 「四帝仁宗有道君」—明代

說唱詞話の開場慣用句について—

「中國文學研究」第四期→J

三月 バカを賣ろうよ

早稲田大學中國文學會

草鞋大王の事

「集報」第五輯

小林伸繪歌集『海妣抄』跋

『海妣抄』（私家版）

七月 列仙傳・抱朴子

「二松學舍大學人文論叢」第十七輯→L

昭和五十四年（一九七九）

三月 索・刀・藥—『前前太平記』の一挿話と明代公案小説—

早稲田大學比較文學研究室「比較文學年誌」第十五號→J

八月 重印『道教と佛教第一』跋

『東洋の奇書五十五冊』東京・自由國民社刊
吉岡義豐著 東京・國書刊行會重刊

十月 寶卷と說經節正本

早稲田大學「文學部報」

十月 理論の戲曲史—趙景深著

「中國文藝研究會會報」

中國文學研究 第八期

『曲論初探』——(書評)

第二十五號

節令社清規序

節令社「節令」第一期

紅姑娘のことなど

「節令」第一期

宋代の神呪信仰——『夷堅志』の説話を中心として——

「東方宗教」第五十六號

十一月 漂着神考

「漢文學會々報」第二十六輯(漢文學會創立五十周年記念號) ↓ L

喜鵲の歌——釋迢空在北京——

「短歌世代」第二十三卷十一號

十二月 閑談『繡像小説』

「清末小説研究」第四號

燒頭香の話

「日本古典文學會々報」第八十三號 ↓ L

連理樹

「中國文學研究」第六期

昭和五十六年(一九八一)

十月 『増修金瓶梅研究資料要覽』

「中國文學研究特刊叢書」四 早稻田大學中國文學會刊

一月 林蘭・その人の名は

「中國文藝研究會會報」第二十六號

三月 異人買寶譚私鈔

「早稻田大學大学院文

學研究科紀要」第二十六輯

「集報」第六輯

四月 北京往日抄——昭和十七年・夏より秋へ——

「野草」第二十七號

五月 維修白雲觀尋訪記

「東方宗教」第五十七號

六月 葡萄棚の下で

「早稻田文學」六月號 ↓ J

八月 神になった孫悟空——民間信仰と西遊記——

『西遊記の旅』(中國古典紀行)第三卷) 東京・講談社刊

則天武后

『長安の春秋』(人物中國の歴史)第六卷) 東京・集英社刊

十一月 ピーマンの教訓

大修館書店「中國語」十一月號

十二月 辭令としての詩吟

禽蟲戯

昭和五十七年（一九八二）

二月 『宋明清小説叢考』

巫術と道教

三月 近世文藝と佛教

さらば杯をあげて

長命鎖

『中國の泰山』

六月 盲詩人唐汝詢生卒考

七月 『中國の民間信仰』

「中國語」十二月號

「中國文學研究」第七

期

東京・研文出版刊

昭和五十六年度科學研

究成果報告「中國文化

史上における道教と科

學に關する基礎的批判

的研究」

『圖說・日本佛教の原

像』 京都・法藏館刊

「國學院大學學報」第

二七〇號

「節令」第二期

「世界の聖域」別卷一

東京・講談社刊

中國詩文研究會「中國

詩文論叢」第一集

東京・工作舍刊

動物と傳説

八月 走馬燈の季節

十二月 民俗の中の泥人形

雄山閣「歴史公論」第

八十號

「國學院雜誌」第八十

三卷八號

天理道友社「天理」第

六號